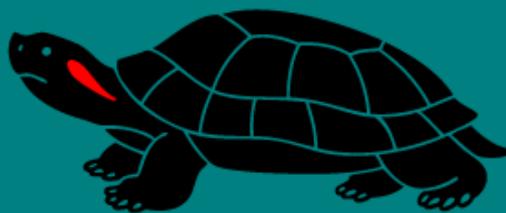
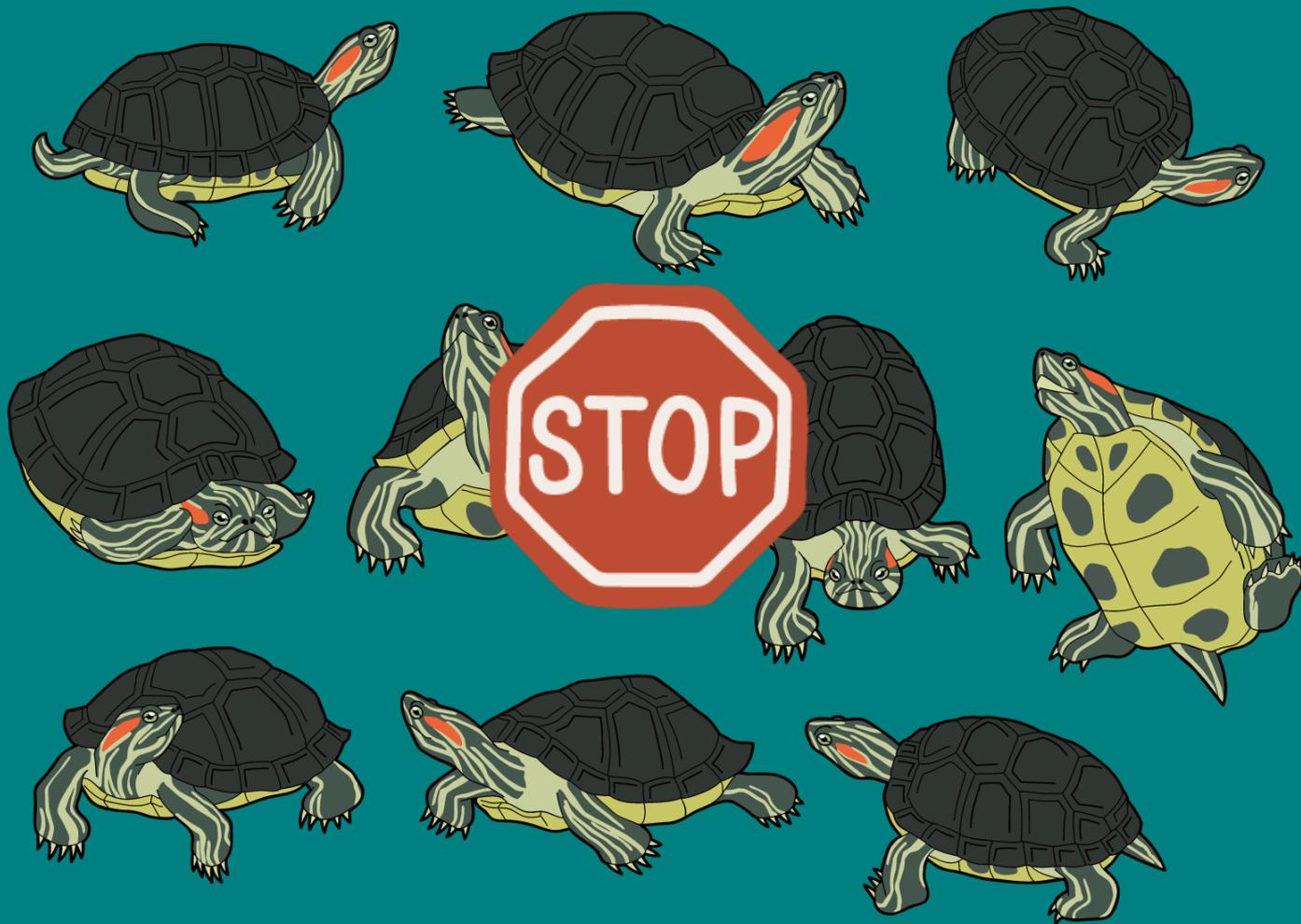
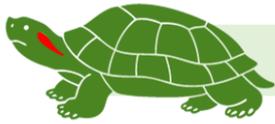


アカミミガメバスターズ実施マニュアル



岩倉市役所環境政策課
さくら・川・環境グループ



アカミミガメについて・・・



アカミミガメってどんなカメ？



出典：国立環境研究所

日本での正式な名前は『**ミシシippアカミミガメ**』といい、もともとはアメリカ合衆国南部からメキシコ北東部の地域に生息しているカメです。

雑食性で魚やカニ、水草など何でも食べます。水辺で生活していますが、**肺呼吸**であるため、時々水面から顔を出したり、地上に上がったたりして息継ぎをしています。

大きさは甲長（甲羅の大きさ）が、子どもの時は **5 cm程度**と小さいですが、おとなになると最大で**オスは 20cm、メスは 28 cm**と大変大きくなります。

正確な寿命は分かっていませんが、飼育下では**約 30 年**生きるといわれています。

《見分け方》

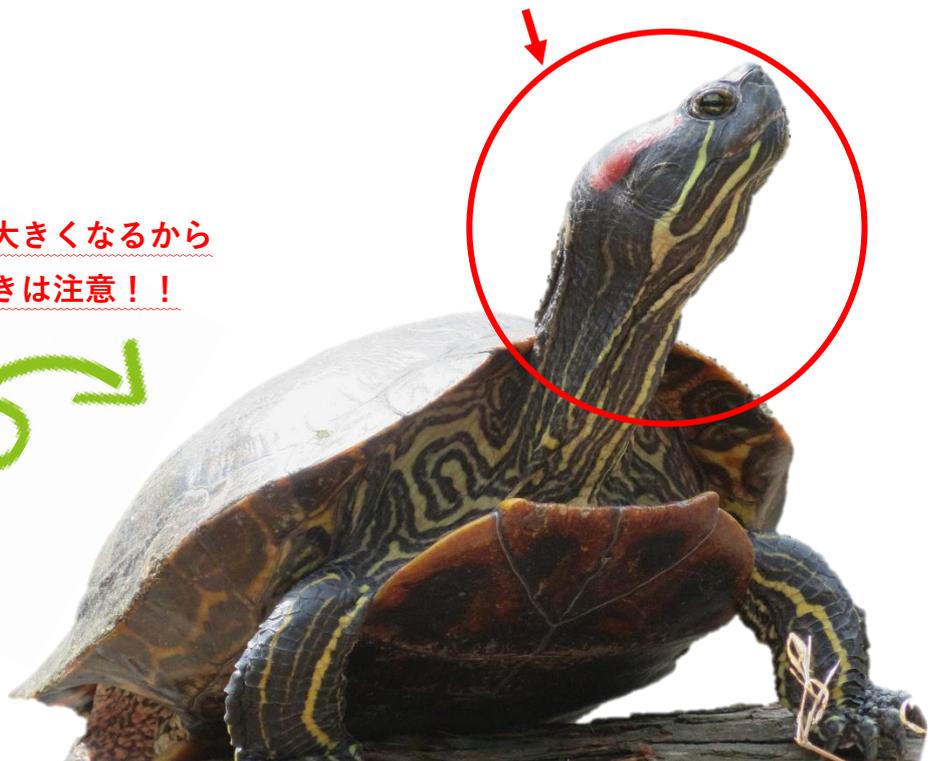
- ①目の後ろの鮮やかな**赤色のライン**
- ②のどから首あたりの**黄色のたてじま模様** が目印です。



**とっても大きくなるから
飼うときは注意！！**



子どものアカミミガメ



おとなのアカミミガメ



日本へ入ってきた経緯は？

1950年代後半に、子どものアカミミガメがペットとしてアメリカから連れてこられたのが始まりです。「ミドリガメ」という名前で、ペットショップやお祭りの出店で売られていました。見た目がかわいらしく、丈夫であったため多くの方がペットとして飼っていましたが、大きく成長し飼えなくなったカメを川や用水に逃がしたことから野生化し、ものすごいスピードで数を増やしました。



どうしてアカミミガメは日本にはいけないの？

アカミミガメは雑食性であるため、魚やカニ、水生昆虫、水草など、日本にもともといた様々な生き物を食べてしまいます。

また、在来種（日本にもともといた生き物）のカメよりも繁殖力が高く、体が大きいため、エサやすみかを奪ってしまいます。



日光浴をするたくさんのアカミミガメ



日本固有種(日本にしかすんでいない)のニホンイシガメ



「条件付特定外来生物」への指定

アカミミガメは特に生態系に影響を与える外来生物として、令和5年6月にアメリカザリガニとあわせて、「条件付」特定外来生物に指定されました。

販売したり、屋外に逃がすことは法律で禁止されていますが、ペットとして飼うことや、生きた個体を無償で譲ったり、譲り受けることは、現在でも行うことができます。



アカミミガメ対策が必要！！

■ 駆除を進める！

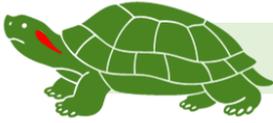
アカミミガメは日本の川や池に多く定着しています。さらに数が増えたり、生息範囲を広げたりすることで、日本の生態系へさらなる悪影響を及ぼすと考えられます。効率的・効果的に駆除を行い、数を少なくすることが必要です。

■ これ以上増やさない！（「外来種被害予防三原則」を守る）

これ以上、アカミミガメをはじめとする外来種による被害を増やさないために、「外来種被害予防三原則」を守ることが大切です。

《外来種被害予防三原則》

- 入れない … 悪影響を及ぼすおそれのある外来種を、元の生息地とは別の場所へ「入れない」。
- 捨てない … 飼っている・栽培している外来種を適切に管理し、「捨てない(逃がさない・放さない・逸出させないことを含む)」。
- 拡げない … すでに屋外にいる外来種を他地域に「拡げない(増やさないことを含む)」。



アカミミガメバスターズ



アカミミガメバスターズとは？

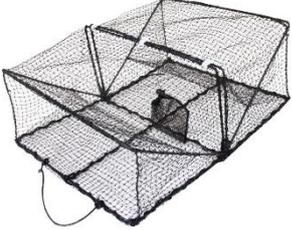
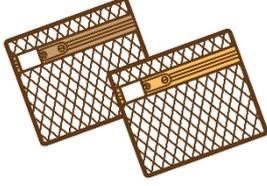
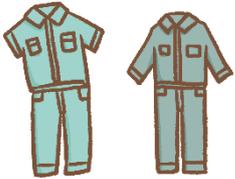
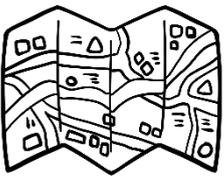
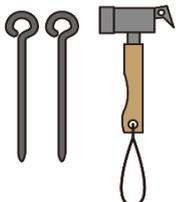
岩倉市では、市民団体の「岩倉の水辺を守る会」と協働で、平成26年度から在来種の保護を目的にアカミミガメの捕獲・駆除を行っています。

令和5年度からは、「アカミミガメバスターズ」として、市民や事業者にも活動に参加してもらい、マルチパートナーシップの取組みとしてすすめています。

カメが産卵する前の6月前後と、冬眠の準備のため、ほかの生き物を盛んに捕食し始める前の11月前後の年2回実施しています。



アカミミガメバスターズを実施する【用意するもの】

 <p>カニカゴ（箱わな）</p>	 <p>エサ (アジやサバなどのにおいが強いものがよい)</p>	 <p>エサ袋・ケース (カニカゴに付属していることが多い)</p>
 <p>空のペットボトル (捕まったカメが息継ぎできるように、尻の一部を水面に出すためのウキとして使います)</p>	 <p>軍手</p>	 <p>ロープ (ワナが流されないよう固定するため)</p>
 <p>汚れてもよい服装</p>	 <p>捕獲したカメを入れるケース (衣装ケースなどのフタができるものが良い)</p>	 <p>アカミミガメ 捕獲調査中</p> <p>目印 (ワナを設置していることが分かるようにするため)</p>
 <p>地図 (ワナを設置した場所を書き込むため)</p>	 <p>ハサミ (エサやロープを切るため)</p>	 <p>ペグ (ワナを固定するため)</p>



アカミミガメバスターズを実施する【実施方法】

★事前準備★

①実施時期を決める

カメが産卵する前の6月前後と、冬眠の準備のため、ほかの生き物を盛んに捕食し始める前の11月前後に実施すると効果的です。

天候が悪かったり、川が増水したりしている時は実施しないようにしてください。

②事前に管理者（地方自治体や水利組合等）に許可を取る

岩倉市内で実施する場合は、環境政策課（0587 - 38 - 5808）にご連絡ください。

③捕まえる場所（ワナを設置する場所）を決める



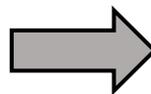
こんなところにカメはいます…

- ①水際で植物が繁茂しているところ
- ②流れがゆるく、滞留しているところ
- ③甲ら干し出来そうなところ

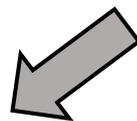
★STEP 1★ ワナの準備



- ①エサの魚を切って、
エサ袋やケースに入れる
(カニカゴに付属していることが多いです。)



- ②ペットボトルとエサを
カニカゴの中に入れる
(ペットボトルは、捕まった生き物が息継ぎをするためのウキになります。しっかりとキャップを閉め、空気が逃げないようにしましょう。)



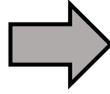
- ③カニカゴをしっかりと閉める

STEP 2は次のページ

★STEP 2★ ワナの設置



①ワナにロープを取り付け、
設置する場所に落とし込む

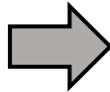


②ワナが流されないようにロープを
固定し、目印を付ける
(木やフェンスに括り付ける。無い場合はペグで
地面に固定する。)

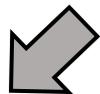
★STEP 3★ ワナの回収（ワナ設置から 24 時間後）



①ワナを引き上げる



②捕獲した生き物を選別し、アカミミガメを
ケースに移し替える。それ以外の在来の
生き物は川に戻します。



③捕獲した場所ごとに、アカミミガメ
の数を数え、地図に落とし込む

◀注意点▶

▼ワナは24時間以上設置し続けない！

捕まった生き物に大きな負担をかけることになるので、24時間以上設置しないようにしましょう。

▼アカミミガメ以外の生きものはリリースしましょう！

アカミミガメ以外の生き物もワナに入ることがあります。在来の生き物は逃がしてあげましょう。

▼設置する場所に注意！

ワナの設置・回収が困難な危険な場所には設置しないようにしましょう。

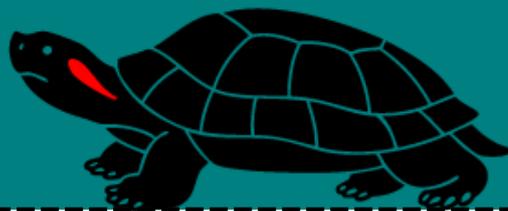
また、ペットボトルのウキを入れていても、カメの重さでワナが沈んでしまうことがあります。そのため、ワナが完全に沈まないよう、設置する場所の水深にも注意しましょう。

▼許可を忘れずに！

ワナを設置する際は事前に地方自治体や水利組合等に連絡し、許可を取りましょう。

岩倉市内で実施する場合は、環境政策課（0587 - 38 - 5808）にご連絡ください。

▼市内で捕獲したアカミミガメの処分については、環境政策課にご相談ください！



《アカミミガメバスターズを実施する前にご連絡ください》

岩倉市内での実施を計画している方

岩倉市市民協働部環境政策課 さくら・川・環境グループ

TEL : 0587-38-5808

MAIL : kankyouseisaku@city.iwakura.lg.jp